

目次

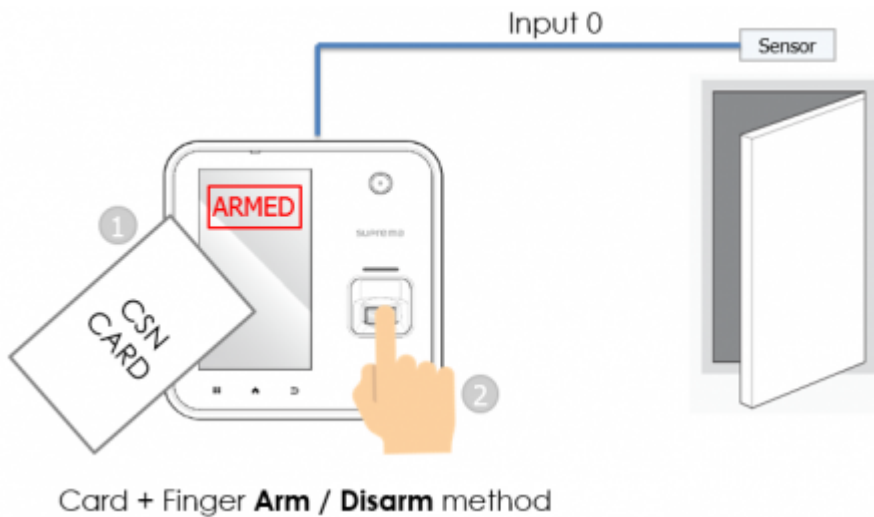
警戒ゾーンの構成	1
構成する	1
動画デモ	4
サポートデバイス	4

システム構成, BioStar 2, 警戒ゾーン

警戒ゾーンの構成

警戒状態の時の侵入試行の感知に使われる警戒ゾーンは、BioStar 2.5で導入されました。侵入イベントが発生した際にデバイスを作動させ、警告音を出力したり、リレー信号を送信することができます。

この機能は通常、業務終了後に事務所を閉める時に開始し、翌日業務を始める際に解除します。



警戒ゾーンをサポートするデバイスリストは、文書下段を参照してください。

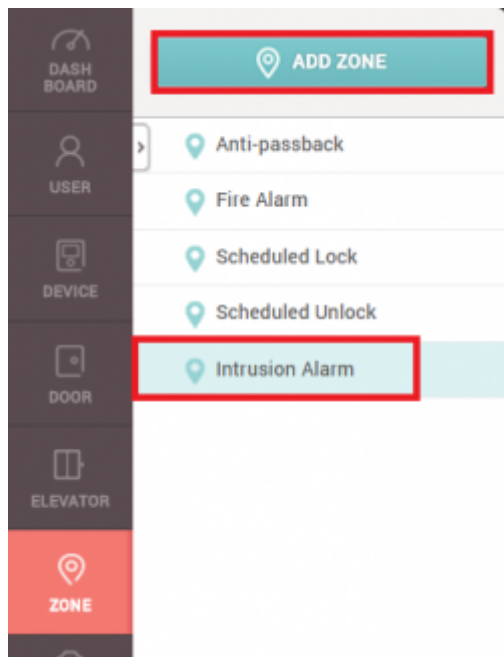
警戒ゾーンは現在RS-485に接続するローカルゾーンのみサポートされ、グローバルゾーンでは使用できません。

警戒ゾーンは入力設定により侵入を感知することができ、ドアセンサーは侵入感知にも使用されます。警戒状態に対する出力および信号は、様々に設定できます。作業条件および動作メニューから、特定イベントについて管理者にEメールで知らせるよう設定することもできます。

警戒開始時にはユーザーは進入できず、認証を試した後に拒否されると該当ログが記録されます。イベントログ類型についての詳細内容は、Knowledge Baseから警報ゾーンに関連する構成ガイドを参照してください。

構成する

1. BioStar 2にデバイスを追加してください。
2. ドアにデバイスを追加してください。
ドアの構成方法は [ドアの生成](#)を参照してください。
3. **ゾーン(ZONE)**メニューをクリックしてください。
4. **ゾーン追加(ADD ZONE)**をクリックしてください。



ゾーン(ZONE)メニューを使用するには、BioStar 2 AC Standardライセンスが必要です。

5. 警戒アラームを選択した後、適用をクリックしてください。
6. 警戒ゾーンの名称を入力してください。

A screenshot of the '新しい警戒ゾーン' (New Alarm Zone) configuration form. The form has a title bar with a back arrow and the text '新しい警戒ゾーン'. Below the title bar is a section labeled '情報' (Information) containing two input fields: '名称' (Name) with the placeholder text '警戒ゾーン' and '種類' (Type) with the placeholder text '警戒アラーム'.

ローカルゾーン(RS-485接続)のみ使用できます。

7. 侵入を検知する **ドア(Door)**を選択してください。
8. ゾーンを有効してください。
9. 必要な場合には、遅延時間(**Delay Time**)を設定してください。

警戒遅延時間：認証から警戒までの遅延時間です。

解除遅延時間：侵入が検知された場合、設定した時間(秒)の間、侵入検知(Intrusion alarm detected)イベントに対する警報動作を行いません。

10. デバイスの警戒/解除方法を選択する場合は、**+追加(+ Add)**をクリックしてください。

デバイスの警戒/解除方法は、次の3つがあります。

1. **カード**：デバイスで警戒/解除するには、警戒カードの登録が必要です。
2. **デバイス**：キーパッドもしくはLCDのあるデバイスで可能です。

A2：警戒を開始するには、LCD

画面上の赤色の開始ボタンを押してください。解除の際は、同じボタンをもう一度押してください。

- BioStation 2、BioStation

L2：警戒を開始するには、1秒間F1を押した後、さらに1秒間F2を押してください。

3.

警戒/解除設定(入力)：外部入力信号で警戒を開始/解除するには、このオプションを使用してください。

11. 警戒ゾーンを警戒/解除する**警戒/解除グループ(Access Group)**を選択してください。最大128個のグループを設定できます。

12. **+追加(+ Add)**

をクリックして、侵入を検知する入力ポートを構成してください。ドアセンサーも侵入検知に使用できます。

13. **+追加(+ Add)**

をクリックした後オプションを選択して、特定イベント発生時に作動するよう警報を構成してください。デバイスで警告音を出力するよう設定したり、リレー出力信号を送信することができます。

次のイメージは、警戒ゾーンで使用できるイベントオプションです。



警報イベント発生後に警告音(Alert Sound)を消すには、**モニタリング(MONITORING) > デバイス状態(Device Status)**メニューから**アラーム解除(Clear Alarm)**を選択してください。

動画デモ

次は、警戒ゾーンに構成されたBioStation

A

2デバイスを警戒開始したサンプル動画です。警戒が開始された状態で認証試行が行われ、警戒が解除されます。

[2x_sysconfig_a2_alarm_final.mp4](#)

モニタリング(MONITORING)メニューの**ゾーン状態(Zone Status)**でのアラーム解除はできませんが、BioStar 2のメニューで警戒開始状態を非活性化することはできません。

サポートデバイス

下記は、BioStar 2.5で警戒ゾーンをサポートするデバイスです。

- BioStation 2 FW 1.5.0
- BioStation A2 FW 1.4.0
- CoreStation FW 1.0.0
- P2 FW 1.0.0
- R2 FW 1.0.0

下記は、BioStar 2.6から警戒ゾーンをサポートするデバイスです。

- BioStation L2 FW 1.3.0 以上 - W2 FW 1.2.0 以上 - FaceStation 2 FW 1.1.0 以上

他のEntry系列デバイスは警戒ゾーンをサポートしません。

From:
<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge./doku.php?id=ja:how_to_configure_an_alarm_zone&rev=1622017913

Last update: **2021/05/26 17:31**